



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



平和には挑戦と寛容さが不可欠

今年のザビエル上陸記念祭で郡山司教

8月15日(月)恒例のザビエル上陸記念祭が鹿兒島カテドラル・ザビエル教会であった。記念祭には200人を超える信徒が参列し、「聖フランシスコ・ザビエルがもたらした福音こそが平和を築く礎になる」との思いを再確認し、その上で世界平和の実現とザビエルがもたらした福音の広がりを祈った。

1549年8月15日、日本にキリスト教を伝えるために波濤を越えて鹿兒島に上陸した聖フランシスコ・ザビエルの偉業を称え、彼の福音宣教への熱意を信仰の礎としようという「ザビエル上陸記念祭」は、鹿兒島教区が日本を代表して記念するとの思いで毎年続けられている。

今年の記念祭を準備してきた「ザビエル上陸記念祭実行委員会」では、毎年、



200人の信徒が参列したミサ

福音朗読後に説教した郡山司教はこの日が聖母被昇天の祭日であることから、聖母マリアの目立たなくとも大切だった働きに触れ、当時の時代背景から概ね次のようにメッセージを送った。

8月7日(日)には、午後2時からザビエル教会主聖堂で講演会があった。これはザビエル上陸記念祭実行委員会が「記念祭」の一環として企画したもので、講師にイエズス会の平林冬樹神父が招かれた。講演のテーマは「聖F・ザビエルと鹿兒島」。約80人が聴講した。



平林神父によるザビエル講演会



今年のザビエル上陸記念祭でも、「平和の鐘を鳴らすそう」が実施された。この運動は、ザビエルが上陸した日が奇しくも終戦記念日に当たるため、鹿兒島ユニスコ協会と共催で2004年から実施しているもの。

ユニスコ協会と共催で平和の鐘を鳴らす

午後4時30分から始められた式典では、まず鹿兒島ユニスコ協会の吉田浩己会長が挨拶し「平和を実現するためには、まず一人ひとりの心の中に平和の砦を築くことが大事」とメッセージを送った。その後、郡山司教がザビエル教会の鐘を鳴らすと集まった160人余の参列者たちは世界平和を祈るとともに戦争や紛争、天災で亡くなった人たちの永遠の安息を祈った。

9月25日は世界難民移住移動者の日

「世界難民移住移動者の日」は、1970年に福者パウロ6世教皇が教皇庁移住・移動者司牧評議会(現在の移住・移動者司牧評議会)を設立したことを受け、「各小教区とカトリック施設が国籍を超えた神の国を求めて、真の信仰共同体を築き、全世界の人々とともに生きる」決意を新たに「世界難民移住移動者の日」に、おもに滞日・在日外国人、海外からの移住労働者、定住・条約難民、外国人船員や国際交通機関の乗組員とその家族のために「祈り・司牧的協力・献金」がささげられ、それらは日本カトリック難民移住移動者委員会を通じて、幅広く支援に役立てられています。



広島教区に新司教

教皇フランシスコは6月28日(火)アレキシオ白浜満神父を広島教区司教として任命した。

任命当時、日本カトリック神学院院長だった白浜神父は、長崎県南松浦郡新魚目町の出身。54歳。長崎公教神学校、福岡サン・スルピス大神学院を経て1990年に司祭に叙階。1993年にサン・スルピス司教会カナダ管区に入会し、その後3年間、パリ・カトリック学院の典礼高等研究所で典礼学・秘跡神学を専攻

司祭叙階式

日時 9月22日(木) 14時
場所 鹿兒島カテドラル・ザビエル記念聖堂
受階者 フランシスコ・利奎 師
司式 郡山健次郎司教

「短」信

▼第4回聖書学校
小学生を対象にした聖書学校が8月2日、4日にかけて、宮崎市にある「カリタスの園」で開かれ、16人が参加。神さまのいづくしみについて学習し、また交流の楽しい時間を持った。

▼4面に関連記事

▼中学生キャンプ
8月16日、17日の2日間、青年会主催の中学生キャンプが川内教会であった。参加したのは、中学生5人。兄貴分の青年たちの付き添いで海水浴や花火を楽しんだ。

▼2面に関連記事

▼ヨゼフ三末篤實司教
広島の元教区司教・ヨゼフ三末篤實名譽司教が6月28日未明、急性心筋梗塞のため帰天した。80歳だった。三末司教の葬儀は6月30日(木)、広島カテドラル世界平和記念聖堂でささげられた。

神学生の「僕の長崎への道」 日本二十六聖人の道を歩いて (1)

1597年2月5日、長崎の西坂で26人のキリスト者が磔刑に処された。豊臣秀吉による禁教政策の下、京阪地方の司祭と信徒24人が捕縛され、京都から長崎まで連行。途中2人が加わり、日本の教会で最初の殉教者となった。1862年、教皇ピウス9世により列聖。以後、教会では2月5日を「日本二十六聖人の祝日」とする。

二十六聖人の歩いた道を、俗に「長崎への道」と呼ぶ。全長約900km。聖人たちが34日間にわたり、ときに牛車や馬で引き廻され、ときに船に揺られ、十字架の待つ西坂まで行進したその道を現代、巡礼道として歩く人たちがいる。列聖150周年にあたる2012年、日本カトリック司教協議会は長崎・西坂を巡礼所として承認。五つの関係司教区(京都、大阪、広島、福岡、長崎)は「日本二十六聖人長崎への道」ネットワークを発足、巡礼を奨励した。

その道を今年の四旬節、一人歩いた。全行程を数回に分けて歩く人は多いが、一時に通して歩く人は稀という。またグループで歩くケースがほとんど、一人歩きも稀と聞いた。38日間の単独行。これはその旅の覚書からおこした記録である。

日本二十六聖人の殉教

1596年10月、フィリピンからメキシコへと出航したスペイン船サン・フェリペが土佐・浦戸に漂着。豊臣秀吉はその積荷の没収を命じた。反発した船員が、宣教は国土征服の手段と威嚇。かねてから外国人宣教師の活動に疑念を抱いていた秀吉はこれに立腹、京阪地方の司祭と信徒24人(うち外国人6人)を捕縛、全員を長崎で処刑するよう命じた。

24人は1597年1月3日、見せしめのため、左耳を切り落とされ牛車で京都市中を引き廻しに。そして伏見、大阪、堺でも引き廻された後、主に山陽道を西進。途中2人を加え、関門海峡を渡り唐津街道へ。さらに長崎街道を下り2月5日正午前、西坂の丘に至り、磔刑に処された。26人は信仰のため処刑されることを喜びとしたという。

2月18日(木)京都市中引き廻しの道:約10km

午前6時30分、河原町教会でミサ。

午前9時過ぎ、望洋庵を出る。御所の近隣であるからか、近代的な高級マンションが目立つ。嫌味である。



望洋庵のある西陣教会前で

熊本でボランティア活動

Sr. 澤 ヤエ子

2016年4月14日と16日に発生した「平成28年熊本地震」には、自然のパワーの恐ろしさを見せ付けられました。鹿児島でも強い揺れは感じました。幸いに鹿児島では被害はありませんでした。

このたび、(福岡教区カリタス・熊本地震被災者支援センター)でのボランティアに行きましたので、その体験を分かち合わせていただきます。この支援センターは主に、熊本県阿蘇郡西原村と益城町の被害の大きかった所の社会福祉協議会と共に活動しております。私は西原村の避難所での活動に参加いたしました。

この避難所は玄関を入ると右には障害者の人たち、左側には高齢者の方々が50〜60人くらい入っておられました。3か月近くの避難生活で心身共に疲れの極みでした。カリタス福岡のボランティアたちは、避難している人々が心身に寄り良く過ごせるために、環境の美化と傾聴のボランティアを中心に、西原村社会福祉協議会から依頼されています。

益城町の地震で大きな被害を受けた現場に行く人たちは、壊れた家の瓦礫の片付け・土砂の片付けなど、持ち主が一緒にいる時には、ご家族への配慮をしながら共に行うそうです。地震で壊れた片付けが終わりがけた頃の6月の大雨で、地震では壊れなかった60年前に建築された大きな家の近くのがけが崩れ、家の中に

土砂が入り畳をはがし、床板をはがして床下の土砂の取り出し作業を小雨の中30人くらいのボランティアさんたちで行ったところ、ご家族から感謝された夕方の方の反省会で聞かせていただきました。その日の益城町の気温は37度・38度・湿度80%以上という過酷な状況の上、雨も降ったりやんだりという悪条件での作業だったそうです。

地震だけでなく、水害の復旧・復興にはまだまだ時間と被災者たちの忍耐、ボランティア・行政の協力と知恵、時間がかかりそうです。余震もまだ続いています。自然の恐怖の中で過ごしている人々を心に留めてくださることに感謝いたします

2016年7月
(レネンブートル宣教修道女会)



ご寄付とご援助のお願い
鹿児島教区青年会では9月24日(土)25日(日)「ネットワークミーティングin鹿児島」を開催します。これは年2回賛同教区で開催し、全国の青年を招くイベントです。

今回、8年ぶり2回目の鹿児島開催となり、全国から約1000人の青年が参加する予定です。全国からの青年をもてなすために是非、協力をお願いします。必要なものは飲料物(アルコール、ソフトドリンクなど)、鹿児島の名産物、金権または現金も歓迎です。宛先は鹿児島教区本部「青年会」。

文芸 短歌

鹿児島純心 川上 和
ザビエルさま薩摩の丘に夢描く信じる人の喜びの日を

始良教会 川口 節子
教会にアンジェラスの鐘響く時父なる神の愛つたわりし

国分教会 市来 房枝
人あまた癒したまひきテレサに称号「聖人」授けし教皇フランシスコ
来日のマザーテレサの手を取りて吾は告

俳句

げきに「アイ・ラブ・ゴッド・ウィズ・ユー」
鹿児島純心 川上 和
復興のキャンデルの夏希望に燃ゆ

吉野教会 徳永ノブ子
平和への祈りをこめる原爆忌
時めぐり想ひ起すや原爆忌
白雲のなびく火の島蟬時雨

国分教会 政 ノブ子
ミサ帰りちよつと一息心天
お中元探す楽しみ友の顔

青年会主催 中高生キャンプ に参加して

昨年からの青年会が主催している「中高生の集い」が8月16日から17日まで、川内教会で行われました。今回の参加者は5と少ない人数でしたが、夏と冬に開催しているこの集いでは、冬は室内でレクリエーションや分かち合いを主体とし、夏には遊ぶことをメインにしています。

1日目、開会式の祈りの後、海水浴と温泉に行き、バーベキュー。その後は川内花火大会を鑑賞しました。2日目は、聖母の被昇天の話や仲間についての分かち合いをし、その後のミサで解散となりました。中高生の集いで出会う子どもたちが笑顔で楽しむ姿を見て、今年も開催してよかったです。

次世代の教会を担う子どもたちが「仲間」という横のつながりを深め、「子どもたちが教会に行きたい」と自分から言えるよう、青年会一同ともに歩んでいけたらと思います。(青年会 石田浩史)

今回の中高生キャンプを通して、仲間と協力することや思いやるといふ心が大切だと改めて感じました。(谷山教会 中学 岸龍之介)

今まで話したことのないメンバーと友だちになれて嬉しかった。教会の仲間について聞き、これから先も進学先などでたくさんの方の友だちができると思うので、大切にしたいと思います。(吉野教会 高校3年 田中彩芽)

僧侶も司教も繁華街を行進

平和願って諸宗教団体が協力

広島に原子爆弾が投下された8月6日は、鹿児島では水害(1993年)に見舞われ、50人近い死者が出た日。この悲惨さを心に留



め、平和を祈ろうという鹿児島島の宗教者たちの平和行進が、この記念日に鹿児島市の繁華街であった。これは「宗教の違いを超えて信頼関係を築こう」と2011年に設立された「鹿児島宗教者懇話会」が企画したもので、60人余の各宗教の指導者と信徒たちが、原爆の火を先頭に平和を訴える幟を持って歩き、道行く人たちに平和のため祈る姿を見せた。行列には、仏教、神道、キリスト教の指導者が、それと分かる服装で参列。その中で郡山司教の白のスーツと赤

いズケットは特に目立っていた。開会式をすませた一行は午後5時、真宗大谷派鹿児島別院(鹿児島市新町)を出発し、いづろ交差点、天文館、高見馬場を経由してザビエル教会へ。教会では鐘を鳴らして祈りをささげ、照国神社を目指した。

終点の照国神社での締めくくりに祈りは、和太鼓が打ち鳴らされるといふ独特の雰囲気。まさに宗教を超えた祈りを実感させた。その後、会場を中央公園に移してコンサートを開き、全員で郷愁感たっぷりの歌を合唱するなどして今ある平和を噛み締めた。

新しい代表は10人家族

谷山教会信徒会長に岸誠一郎さん

「受洗してから、今年で6年目になります。夫婦と子ども8人の10人家族です。家族全員受洗し、日曜日のミサは欠かさず、また教会に行くことを楽しみにしています。長男

は、自らの意志でコンベンツアル聖フランシスコ会の神学生として長崎で寮生活を送っています。三女は、谷山教会で侍者に励んでいます。私も妻も東京出身で東京で生まれ育ち、東京で就職をして過ごしておりました。大学で農学を学んだことから、脱サラをしてイターンで鹿児島(南さつま)にやってきました。しかしやはり田舎ということ、人間関係にかなり悩まされておりましたが、谷山教会の皆さんと出会い、救われた思いでいます。今回信徒代表という大役を課せられました。皆さんのお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。これからも温かく見守ってください」(岸誠一郎)

司教執務室便り



WYDの思い出

責任者としては最後となる「WYDクラブ大会」はこれまでの三回と違ってかなり強い印象を受けたように思う。もちろん、それぞれに印象深いことは異なるが、まず最初となった地球の反対側のシドニーが日本の真南ということの時差がないことに驚いたが季節は反対。また、ホームステイ先の年金生活の夫婦の生活のつましさと奥さんだけが信者というの驚いた。何よりも街路樹に群がるのが野生のインコと知った時は何枚もシャッターを切ったものだ。

マドリッドも初めての土地ではあったが、100キロの徒歩巡礼は特に印象深い。「引退したらスペインに住みたい」と思ったほど親しみを感じた。リオは、日本人が多く住む土地だけに、彼らとの交流は涙の毎日と言ってもいい。「私たちは、奴隷解放で人手が亡くなった農家の穴埋めのために招かれた」という入植者の声には涙どころか怒りさえ感じたものだ。さて、今回のクラブ。ホームステイ

先の司祭館の住人である主任司祭も助任司祭も英語がまったく話せないのには面食らった。共産主義政権下で育った年代だからだと思いが、若い人たちは話せる人が多くなっているようだった。それよりも、「2000人の小さな教会」の主日のミサはお御堂一杯、それに前列には20人余りの子供たちが整然と座っていたのが印象的だった。しかも、まったく思いがけないことだったが、日本の会社に勤務する人がいて、鹿児島島でするように子供たちに質問したりしながら説教も楽しむこともできた。そういえば、現地で日本語学校を運営する日本人信者の話によると世界で台湾に次いで親的な国なのだという。それに、日本に次いで安全な国だということもなんだか嬉しかった。ポーランドと言えば教皇やコルベ神父様しか知らず、ヨーロッパの貧しい国との印象しかなかった。しかし、どこの田舎を通っても、家も庭も道路もヨーロッパのもの。あまりの豊かさとのびやかさにスペインを置いて先に住みたいと思った。ボクのWYDは本大会もさることながらポーランドとの出会いで終わった。皆様のお祈りに感謝しながらお礼と報告をかねて書きました。

5年間もの間、信徒代表として尽力下さった大野正博氏が退任され、なかなか決まらなかつた新代表です



が、主任司祭頭島神父の希望もあって岸誠一郎さんに決まりました。岸さんは谷山教会にいられてまだ日が浅く、住まいも加世田と遠路にあり、しかも8人の子育て真っ最中かとても大変な時だと思えます。でももうすでに信徒代表として力を発揮してくれています。これからは若さと元氣と信仰によって乗り越えられますよう、信徒一同、一丸となって応援したいと思います。(谷山教会レポーター)

フイジユ祭で恩人を偲ぶ 司教を招いて瀬留教会

7月10日(日)瀬留教会では郡山司教を招き、恒例のフイジユ祭を行った。

集まった100人余の信者たちは、奄美での宣教に生涯をかけ今もこの地に眠るフイジユ神父の墓を詣で、祈りをささげた。また墓地からはロザリオの祈りを唱えながら教会まで行列し、その後のミサでフイジユ神父だけでなく、今はこの世を去った歴代の担当司祭たち安息のために祈りをささげた。

会と催し (9月)

- 1日(木) 聖体礼拝・カテドラル・6時30分
- 3日(土) 司祭のマリア運動・ザビエル教会・13時
- 4日(日) 年間第23主日
- 8日(木) 七田和二郎神父命日(1989年)
- 10日(土) 聖マリアの誕生
- 11日(日) いつくしみの集い・ザビエル教会・14時
- 14日(水) 糸永真一名誉司教叙階記念(1952年)
- 15日(木) 十字架称賛
- 18日(日) 鹿兒島市主任司教会・教区本部・15時
- 21日(水) 司教座教会献堂記念日
- 22日(木) 年間第25主日
- 23日(金) 聖マタイ使徒福音記者
- 23日(金) ダニエル神父命日(2003年)
- 24日(土) パルビニ神父命日(2004年)
- 25日(日) 年間第26主日
- 27日(火) オリーブの会・教区本部・14時
- 27日(火) メニッヒ神父叙階記念(1959年)
- 29日(木) 松永正男神父霊名(聖ビンセンチオ)
- 使 聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル大天使
- ▼ティエン神父霊名(聖ガブリエル)

祈りの意向

- 【ノベナ】 朴昶奎助祭司教叙階式(8日~17日)
- 【祈祷の使徒会】 世界共通・人間中心の世界
- 宣 教・福音宣教の使命
- 日本の教会・難民移住移動者の子どもたち

Katesismo sa Taon ng mga Dukha (Fr. Dino Orolfo)

神さまの「いつくしみとは」

「第4回聖書学校 in 宮崎」を終えて

今回で4回目になる聖書学校(子ども大会)が、8月2日(火)から4日(木)まで開催された。16人の子どもたちが参加し、宮崎市のカリタスの園で「神さまのいつくしみ」について一緒に考えた。貴島丈弥神父(聖心教会)の話を参考に、神さまのいつくしみをグループごとに分かち合った。子どもたちは身近なところに神さまのいつくしみが分かった。以下はその子どもたち感想文。

聖書学校に参加して

私は、8月2日から4日までの3日間で、「神さまのいつくしみとは」というテーマにそって神父さまたちと考えました。

私はそもそも「いつくしみ」を知らなかったの、はじめは何を言っているのか分かりませんでした。けれども神父さまの話の聞いてみると、テーマの意味が分かってきました。

まず「いつくしみ」とは人のことを思いやるこ



みんな笑顔で記念撮影

今世界で、神さまのいつくしみについて考えているそうです。私たち人間は、みんな神さまの子です。なのでみんな兄弟姉妹なのです。そのことをヒントに、私たちのグループが導き出した答えは、「やさしさ」「人を愛すること」「思いやり」

などでした。だから兄弟姉妹である人を大切にしないといけません。

今までの私は、人に向そをついたり、人がいやがるようなことをしてしまっていた。だから今回のキャンプで、人を愛し、大切にすることを毎日しっかり思い出すと思っています。

またこのことについての動画も見ました。一番印象に残った動画は、コーラのCMです。はじめ「神さまのいつくしみ」と関係があ



るのかと疑っていましたが、動画を見るとその考えは180度変わりました。電車の中に、大笑いする男の人が入ってきました。まわりの人は、いっしょに「変だな」と思うような表情をしていました。でもすぐに表情が変わりました。なんとみんな笑っているのです。ひとつの笑顔が、自然とみんなに広がっているのです。わたしは、この男の人の喜びをみんなに分かち合っていると思、あたたかい気持ちになりました。このCMは、私たちが喜びを分かち合えると思います。私もこのCMのように、人の「喜び」や「悲しみ」を分かち合える人になりたいです。

(玉里教会 6年 上田 鈴音)

をさんこうにして、「いつくしみ」とは、「人のことを大切にすること」ということ、ほんとうに大事なことと思えました。私はそれをも守っていきたくです。

2泊3日のキャンプで、べんきよう、プール、ミサなど楽しい行事がありました。いちばん楽しかったことが三つあります。

一つめは、ごはんを作ってくれたおばさんたちのお手伝いができたことです。2日目のバーベキューのお手伝いで、お水をはこんだり、お水をはこんだり、火をおこすお手伝いできて楽しかったです。ほかにも朝食や昼ごはん、夜ごはんがおわった後、おさらやおはしをだいでどこにはこんだことです。おばさんが「えらいね」とほめてくれたことがとてもうれしかったです。

二つめはバーベキューです。女子にだけジュースを買ってきてくれました。私はスコールのみました。ウインナーやお肉もとてもおいしかったです。8時には打ち上げ花火もしました。

鈴木神父のやさしいみ言葉

「おとめ」に込められた意味

マリヤ様の処女懐胎については史上最悪の誤訳という考え方があります。それは有名なインマヌエル預言の「おとめ」に「処女」の意味を読み込んで、というところに起因します(イザヤ7・14)。確かに、「おとめ」と訳されたアルマーというヘブライ語には「処女」の意味はありません。この言葉は本来「結婚

して、丈夫な子どもを産んで育てていけるだけの年齢に達した女性」のことを意味します。この言葉はギリシア語訳の旧約聖書ではパルテノスとされてきたことから、福音記者マタイはそのままこの言葉を用いました(1・23)。この言葉は「十人のおとめ」のたとえの中で出てくる「愚かなおとめ」や「賢いおと

め」の「おとめ」と同じです(25・1・13)。このことからわかるように、この言葉は基本的に未婚女性を意味することから、処女の意味を直接に見出すのは深読みである、と言われることもあります。

因みに、処女懐胎についてはマタイとルカにしか描かれていないことから、二資料仮説に基づけばイエス様についての新しい理解があると云えます(2014年7月号)。ということからは、マルコ福音書が描かれた後、マタイとルカはどう

してもイエス様の誕生の経緯を書かざるを得なかった状況に追い込まれたのではないかと考えられます。その「追い込まれた状況」とは、福音書が描かれた時代背景にあります。この当時、ギリシア文化の浸透により、人々はたとえそれが信仰であったとしても言語によって真理を追究し、それを説明する必要性に迫られていました。つまり、異文化に晒される中であって、イエス様を信じる者たちは自らの信仰の正当性を言語によって哲学的に論証、及

び批判に対しては反駁する必要があったのです。実は、イエス様が救い主メシアである、という信仰は当時のギリシア文化圏では大きな矛盾を抱えたものでした。では、この矛盾とはどこにあるのでしょうか。このことを理解するために、今回はギリシア文化に於ける「存在」についての理解に触れてみましょう。少しの遠回りが私たちの信仰を深めてくれるかもしれませぬ。



貴島神父のギターの伴奏で聖歌

鹿児島カトリック正義と平和協議会 学習会・講演会 2016
「聖書を発見する」・神は貧しく小さくされた者と共に

講師：本田哲郎 神父 (フランシスコ会)

日時：(学習会) 11月18日(金) (定員 20名)
15時~17時
(講演会) 11月19日(土) (定員 50名)
① 10時~12時
② 13時~15時

場所：カトリック鹿児島教区本部・2階会議室
参加費：自由カンパ
連絡先：080-1704-8315 山下和実

本田 哲郎 1942年生まれ。両親は奄美出身
大阪釜ヶ崎にて、日雇い労働者に学びつつ聖書を読み直し、また「釜ヶ崎反失業連絡会」などの活動に取り組んでいる。新共同訳聖書の編集委員

